（別記）

令和８年度大熊地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当町においては、福島第一電子力発電所事故に伴い、避難指示が発令された。平成 31 年 4 月 10 日に中屋敷・大川原地区、令和 4 年 6 月 30 日に特定復興再生拠点区域の避難指示が解除された。

令和 2 年度から検討を重ね、令和 3 年度には「大熊町営農再開ビジョン」を策定した。その後はビジョンに基づき、令和 4 年度からは先行して避難指示が解除されていた大川原地区にて本格的に営農が再開された。また、令和 7 年度からは特定復興再生拠点区域でも営農が再開され、営農再開面積を大きく増加させた。

一方で、震災当時の農業者は震災より約 15 年が経過し、すでに避難先で生活基盤を築いていることによる営農意欲の低下や農業者の高齢化、非農家への農地の相続などにより、従来の農業者による営農再開は厳しい状況である。そのため、町外からの参入者を含めた営農再開への環境づくりを進めている。

令和 7 年度には特定復興再生拠点区域での営農が再開されたこと、それにより既存の農業者が耕作規模を拡大したことなどから、営農再開面積は大きく増加した。今後も農地と農業者の結び付けや、避難指示の解除が進むことなどにより営農再開面積の増加を目指しているが、他市町村と比較しても営農再開率はいまだ低い水準にある。

そのため、産地交付金を始めとした国、県、町による補助制度などを活用することにより、営農再開を推進していく。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

（１）適地適作の推進

近隣市町村の動向、作付・販売実績などを参考に、当町に適した品目の作付けを推進する。

（２）収益性・付加価値の向上

高収益作物の推進に当たっては、福島県の推進する地域振興作物を中心とする計画を推進する。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

（１）地域の農地の在り方

水田や水路等の維持管理には地域の協力が必須であるが、福島第一原子力発電所事故の影響により、町内に居住する農業者は現在も少ない。国の方針をもとに水田利用を推進していくが、担い手や居住者の状況を踏まえて、他作物の適地については畑地化も併せて検討していく。

（２）地域におけるブロックローテーション体系の構築

現在、ブロックローテーション等の取組は行われていないが、地域農業者や関係機関との協議を行い、ブロックローテーション体系の構築に向けて検討する。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

大川原地区においては、令和 2 年まで実証栽培を実施し安全性の検証は終了してお

り、令和４年度から営農を再開した。また、特定復興再生拠点においても、令和４年に実証栽培を実施し、安全性を確認した。震災前の栽培主品目であること、主食用米の価格が現在高騰していることから、栽培される農業者においては生産支援を行いつつ、生産者の長期的な所得の安定化を図るため、飼料用米等の新規需要米や畑作物への転換も視野に入れる。

（２）備蓄米

取り組みなし。

（３）非主食用米

ア　飼料用米

現在は主食用米の価格が高騰しているが、安定的な需要がある飼料用米の作付けにも誘導を進めていく。また、収益力の向上を目指し、農地の集積・集約に向けた支援を行う。

イ　米粉用米

令和７年より乾田直播栽培による米粉用米の作付けが行われた。今後も需要の増加が見込まれることから、農地の集積・集約に向けた支援を行う。

ウ　新市場開拓用米

令和７年より乾田直派栽培による新市場開拓用米の作付けが行われた。今後も需要の増加が見込まれることから、農地の集積・集約に向けた支援を行う。

エ　WCS 用稲

取り組みなし。

オ　加工用米

令和２年度より、酒造好適米（五百万石）を栽培しているため、引き続き生産支援を行う。

（４）麦、大豆、飼料作物

ア　麦・大豆

麦・大豆については１年２作や２年３作体系の他に、水稲や大豆とのローテーションの推進による栽培形態の取組や新たな栽培技術を取り入れた取組等に対する支援を行う。

イ　飼料用作物、イタリアンライグラス類

飼料用作物については周辺自治体の畜産需要に対応した飼料供給の生産産地として、生産性向上を図る取組等への支援を進める。

（５）そば、なたね

そばは比較的労働生産性の高い栽培品目であり、担い手対策として複合経営を推進し、担い手への支援を行う。

（６）地力増進作物

除染により元の土壌が剥ぎ取られ、山砂で覆土されているため、緑肥作物（ヘアリ

ーベッチ、クロタラリア、セスバニア、クリムソンクローバ、レンゲ、ソルガム、エンバク、大麦、ヒマワリ等）を作付けし、収穫せずに適切な時期に、すきこむことで地力の維持・向上を図ることを目的とした取組に対して支援を行う。

（７）高収益作物

地域の生産体制や生産者の要望に応じた作物栽培に取組む予定である。

高付加価値産地協議会で具体的に取組が進んでいるタマネギやねぎを地域振興作物とし団地化の取組を進める。

その他の作目についても営農再開状況に合わせて支援を進めることとする。

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	13.10	0.00	15.50	0.00	20.00	0.00
備蓄米	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
飼料用米	0.00	0.00	0.00	0.00	15.00	0.00
米粉用米	8.60	0.00	11.70	0.00	0.00	0.00
新市場開拓用米	4.60	0.00	4.60	0.00	0.00	0.00
WCS用稲	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
加工用米	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
麦	15.00	0.00	16.30	0.00	30.00	0.00
大豆	31.10	0.00	28.00	0.00	10.00	0.00
飼料作物	14.70	0.00	16.80	0.00	20.00	0.00
・子実用とうもろこし	14.70	0.00	16.80	0.00	20.00	0.00
そば	0.00	4.70	0.00	0.00	1.00	0.00
なたね	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
地力増進作物	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
高収益作物	10.50	0.00	11.40	0.00	15.00	0.00
・野菜	5.60	0.00	5.90	0.00	12.50	0.00
振興作物①対象	5.60	0.00	5.90	0.00	11.50	0.00
甘藷	5.60	0.00	5.90	0.00	10.00	0.00
ショウガ	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00
振興作物②対象	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
タマネギ	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
・花き・花木	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
・果樹	4.70	0.00	5.30	0.00	1.00	0.00
・その他の高収益作物	0.20	0.00	0.20	0.00	0.50	0.00
えごま	0.20	0.00	0.20	0.00	0.50	0.00
その他	2.60	0.00	2.70	0.00	0.00	0.00
畑地化	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	飼料用作物 イタリアンライグラス等トウモロコシ（子実用含む） ＷＣＳ （飼料用米を除く） （基幹作物）	戦略作物加算①	飼料用作物(飼料用米を除く)の取組面積	(令和7年度)14.7ha	(令和8年度)20.0ha
2	飼料用米 （基幹作物）	戦略作物加算②	飼料用米取組面積	(令和7年度)0.0ha	(令和8年度)15.0ha
3	加工用米 （基幹作物）	戦略作物加算③	加工用米取組面積	(令和7年度)0.0ha	(令和8年度)1.0ha
4	麦、大豆、そば、なたね （基幹作物）	戦略作物加算④	麦取組面積	(令和7年度)15.0ha	(令和8年度)30.0ha
			大豆取組面積	(令和7年度)31.1ha	(令和8年度)10.0ha
			そば取組面積	(令和7年度)0.0ha	(令和8年度)1.0ha
			なたね取組面積	(令和7年度)0.0ha	(令和8年度)1.0ha
5	野菜、花き、果樹、 その他の高収益作物 （ホウレンソウ、カボチャ、サトイモ、ブロッコリー、キャベツ、アスパラガス、キュウリ、トマト、ネギ、サツマイモ、ショウガ、エゴマ、キク、洋ラン、バラ、トルコキキョウ、ナシ、キウイ） （基幹作物）	振興作物加算①	野菜取組面積	(令和7年度)5.6ha	(令和8年度)11.5ha
			花き取組面積	(令和7年度)0.0ha	(令和8年度)1.00ha
			果樹取組面積	(令和7年度)4.7ha	(令和8年度)1.00ha
			その他の高収益作物取組面積	(令和7年度)0.2ha	(令和8年度)0.50ha
6	たまねぎ （基幹作物）	振興作物加算②	たまねぎ取組面積	(令和7年度)0.0ha	(令和8年度)1.0ha
7	地力増進作物 （ヘアリーベッチ、クロタラリア、セスバニア、クリムゾンクローバ、レンゲ、ソルガム、エンバク、大麦、ヒマワリ、等 （基幹作物）	【国枠】地力増進作物助成	地力増進作物取組面積	(令和7年度)0.0ha	(令和8年度)1.0ha

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：福島県

協議会名：大熊町地域農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	戦略作物加算①	1	15,000	飼料用作物（飼料用米を除く） イタリアンライグラス等,トウモロコシ（子実用含む）WCS（基幹作物）	生産性向上の取組（明渠・暗渠の施工等）
2	戦略作物加算②	1	5,000	飼料用米（基幹作物）	生産性向上の取組（明渠・暗渠の施工等）
3	戦略作物加算③	1	5,000	加工用米（基幹作物）	生産性向上の取組（明渠・暗渠の施工等）
4	戦略作物加算④	1	15,000	麦、そば、なたね　（基幹作物）	コスト低減の取組（肥料農薬の低減　等）
4	戦略作物加算④	1	3,000	大豆（基幹作物）	コスト低減の取組（肥料農薬の低減　等）
5	振興作物加算①	1	20,000	野菜、花き、果樹、その他高収益作物（ホウレンソウ、カボチャ、サトイモ、ブロッコリー、キャベツ、アスパラガス、キュウリ、トマト、ネギ、サツマイモ、ショウガ、エゴマ、キク、洋ラン、バラ、トルコキキョウ、ナシ、キウイ） （基幹作物）	作付面積に応じて支援。
6	振興作物加算②	1	25,000	たまねぎ	作付面積に応じて支援。
7	【国枠】地力増進作物助成	1	0	地力増進作物（ヘアリーベッチ、クロタラリア、セスバニア、クリムゾンクローバ、レンゲ、ソルガム、エンバク、大麦、ヒマワリ、等） （基幹作物）	通常の肥培管理及びすき込み

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。